

ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン 公開フォーラム

男たちの #MeToo

-男性もハラスメントにNOを!-

Dang Khoa / Dearo / KeyOne Foto

SNS上で広まつた#MeToo運動。職場や家庭、友人・知人関係など社会のさまざまな場面で、ハラスメント被害の深刻さを浮き彫りにしました。

この広範な被害を前にして、多くの男性は他人事と言えるでしょうか?

身近で大切な多くの女性、妻、恋人、娘、友人、同僚が苦しんでいるとしたら…。そして、自身が被害者になつたとしたら…。

今回の公開講座では、エッセイストの小島慶子さんにご講演いただきます。ハラスメントの撲滅へ女性とともに男性も取り組もうと訴える小島さん。

ハラスメントの背景には何があるのか? 男性と女性、互いをバッティングする状況を乗り越え、暴力に泣き寝入りしない社会をつくるためには?

この問いかから、男女が手を携えたハラスメントへのアクションを探ります。



スピーカー 小島慶子さん

2018.10.20 sat.14:00-16:00
クレオ大阪中央セミナーホール

参加お申込み

kokuchpro.com/event/181020_seminar

資料代 ¥500 定員 160人 手話通訳あり

会場アクセス 大阪メトロ谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘駅」徒歩約3分
〒543-0002 大阪市天王寺区上汐5-6-25

主催 一般社団法人ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン

共催 一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会 協賛 夕陽ヶ丘基金

大阪市NPO・市民活動企画助成事業



参加お申込みページ



会場MAP

男らしさ、女らしさと強いる生きづらさがのて問題

小島慶子さんからのメッセージ

こじまけいこ エッセイスト、東京大学大学院情報学環客員研究員。学習院大学法学部政治学科を卒業後、TBSにアナウンス職として15年間勤務。独立後は各種メディア出演、講演、執筆活動を行なっている。「日経DUAL」他連載多数。2014年、夫の退職を機に一家4人でオーストラリアに移住。自らは毎月日豪を往復する出稼ぎ生活。近著に養老孟司氏との共著『歳を取るのも悪くない』(中公新書ラクレ)、小説『幸せな結婚』(新潮社)。

WRCJ
フェアメン3カ条

- III 相手も自分も大切にする
- II 暴力に訴えない
- I 耳を傾ける

女性への暴力をなくしていくカギのひとつ、それは暴力を振るわない大多数人の人たち、とりわけこの問題に「無関係だ」と考えがちな男性たちが、主体的に解決へ向け行動することだと考えていました。

そうした取り組みのひとつが1991年、カナダで始まった「ホワイトリボンキャンペーン(WRC)」。男性が主体となって暴力撲滅に取り組む世界最大のキャンペーンで、50カ国以上に広がっています。日本では2016年4月に「一般社団法人ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン(WRCJ)」が設立されました。

女性への暴力に沈黙せず、対等な相手として尊重する「フェアメン」を増やすべく、全国各地へアクションを広げていきます。

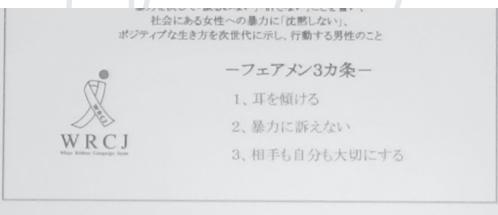
共働きで一緒に子どもを育ててきた夫が仕事を辞め、自分一人で家族を経済的に支えるようになって初めて、片働きのしんどさを知りました。

同時に、これまで女性が弱者で男性が強者という二項対立で捉えがちだった問題を、人間らしい生き方ができない働き方を強いる制度や、男らしさ・女らしさを強いる常識と、それらに生きづらさを感じている人々の問題として捉え直すことができました。

男女の不毛な対立ではなく、対話を通じて、今を生きる私たちが手を取り合って取り組めることを探りたいと思っています。

男性の非暴力宣言－ホワイトリボンキャンペーン・ジャパンとは

Be a Fair Man!



2016.5.1 ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン設立記念シンポジウム「男性の非暴力宣言 2016 in Tokyo」

<http://wrcj.jp>

@WRC_Japan

facebook.com/wrcj.jp

WRCJ



一般社団法人ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5階 総合生涯学習センター ネットワークラボ 気付
mail: contact@wrcj.jp